

事務の効率化が図れるなどのメリットがあるとされていますが、今後他団体の実情などを調査し、さらに研究したいと考えています。

問 行財政改革の一環として申請、届出等に伴う行政事務手続きの簡素化と市民負担の軽減を図るため、一般申請書、届出書の押印廃止へ規則改正を望むが伺う。

市長 申請等の行政手続における利便性向上のための取り組みとして、事務の改善に努めてきたところです。しかし、申請、届出等に関するすべての事務事業について押印の見直しを検討したわけではないので、引き続き、押印の見直しに努めたいと考えています。

◆公園整備について
問 八街市の市民一人当たりの公園面積は何平米あり、他市と比較するとどの様な水準となるか伺う。

市長 現在、市には都市公園が11カ所あり、その面積は約53ヘクタールで、市民1人当たりの都市公園面積は約0.68平方メートルとなり、十分な水準には達していません。現在、榎戸・泉台地区に公園を整備する



計画があるので、できるだけ皆さんのアイデアを生かした公園づくりを検討したいと考えています。

◆市民サービスについて
問 長引く不況や家庭環境の変化等で法律相談への申込件数が大変多くなっております。現在の月2回の相談日も増やせないか。また、確実に相談出来る予約制は導入出来ないか伺う。

市長 平成14年度からは弁護士に特別に依頼し、相談を受けていただく件数を1日当たり8件から2件増やし10件としています。また、当日、申込件数が多い場合は臨時に相談日を設け対応しているところです。予約制の導入は、今後よりよい方法を検討したいと考えています。

古場 正春

◆政治姿勢

問 経費削減（入札、委託費、人件費、車両費、交際費）の見直しについて、市長の交際費を八街市のホームページに公開出来ないか。

市長 行財政改革の一環として実施するものです。

◆各税の滞納額回収及び国税の引き下げについて

問 滞納整理班6名と徴収嘱託員2名の回収方法と休日納税相談開設などの回収結果は。

市長 滞納整理班及び市税等収納補助員の職務内容は、市税等収納補助員が市内の納付誓約に基づく訪問徴収及び現年度分の納期後個別訪問を担当し、うち1名は現在、国民健康保険税を専門に実施しています。

滞納整理班は、市外の現年度分及び滞納繰越分並びに市内の滞納繰越分を担当し、高額滞納事案・長期累積滞納事案・時効完成直前滞納事案を中心に班単独または県市共同での個別訪問・呼び出し並びに滞納処分及びその前提である実態



また、集中滞納整理では、国保年金課との合同滞納整理や県市共同滞納整理、休日における県内市外滞納整理及び県外滞納整理等を実施しており、収納率の向上に努めています。

問 国保引き下げのための具体的な滞納回収額及び引き下げ計画（いつ、いくら）は。

市長 本年度の税率改正には、保険給付費や介護納付金などの歳出の増に対し、それまでの税率では歳入に不足が生じることが予測されるため、平成16年3月定例市議会に税率改正を提案し、承認されたところです。今後も引き続き高齢化の進展や医療技術の進歩などにより、医療費が増え続けることが予想されるので、現在のところ保険税を引き下げる予定はありません。

なお、税収が十分確保できないと国保財政に支障を来すことから、税収の確保は今まで以上に強化を図るとともに、支払い能力が十分あるにもかかわらず、故意に滞納しているものは、厳正に対応し滞納の解消に努めたいと考えています。

石橋 輝勝

◆行財政改革

問 平成8年行革時には、国の指針に沿って、八街市行財政調査会が組織され、外部の意見を取り入れた意見書が出されて実施されました。今回は内部で検討されたことですが、前意見書には広域での行財政改革の言及がありませんでした。はたして今回は。

市長 今回の行財政改革は、個別事務事業について、経費削減の視点での見直しに力点を置いたもので、事務を共同化して効率化を図る方向での検討はしていません。

問 大池第三雨水幹線事業と行財政改革。

市長 大池第三雨水幹線は大池調整池に流入する幹線の一つです。大池排水区の面積は、下水道計画区域約145ha、区域外からの流入区域約179ha、合計で324haです。同排水区のうち、大池第三雨水幹線の排水区域は、1時間当たり20mm程度の降雨で道路冠水等の浸水被害のある東小学校、市役所周辺の既成市街